審 議 会 等 の 会 議 結 果 報 告 書

課所名	生涯学習課 博物館

会 議 名	令和８年度 第１回諏訪市博物館協議会
開催日時	令和８年９月 18 日(金)　午前 10 時 00 分 ～11 時 38 分
出 席 者	委員　樋口公男委員長 平林富美子副委員長 河手正彦委員 宮坂早苗委員 古畑しずゑ委員 涌井みち子委員 百瀬一郎委員 事務局 三輪教育長 小林教育次長 小泉課長 小松館長 児玉主査(学芸員) 三嶋主査(学芸員)
欠 席 者	牛腸要委員 桃井義弘委員 小林健治委員
資　　料	次第、委員名簿、議事資料、諏訪市博物館条例、諏訪市博物館規則

報告・協議事項及び会議結果（要旨）

■報告事項

①第二次諏訪市教育振興基本計画に基づく令和７年度事業報告について

②第二次諏訪市教育振興基本計画に基づく令和８年度事業経過報告・事業予定について

■協議事項(主な意見)

① 第二次諏訪市教育振興基本計画に基づく令和９年度事業構築に向けた計画について

ア どのような展覧会にすれば足を運んでいただけるか。どのようなテーマ設定にするといいか。

・御柱祭を実際に行っている地域の方を招いて直接御柱祭を感じる仕組み。動画中継もいいのでは。

・館の立地上上社の御柱祭が中心になるが、諏訪市は下社の地区もあるため下社とも連携できるといい。

・御柱祭で一般の人が見られない神事や火入れ式の映像を見せたり、柱を引き出す御小屋山を見学するツアーを企画したり、各地区の法被や道具を紹介するのも来館者の興味を惹く。

・沿道の家がおもてなしで出す料理のレシピなどを紹介すると地元の人の男女の役割も伝わるのでは。

イ ラーケーション対応型のメニューとして、子どもたちを呼び込む仕掛けや発信などをどのように工夫すれば豊かな学びの場となるか。

・最近子どもたちの興味は多様化しているが、科学的なものに興味を持つ傾向がある。博物館に科学的なものを設けて、マッチした取組を考案するといいのでは。

・親子や家族単位で来館するラーケーションの人に向けて、予約制にはするだろうものの、常時何か特別なメニューを用意しておくのは、現実的な運営面でなかなか困難なのでは。

・教育委員会を介して博物館美術館に行くことを促し、行って楽しい思いをしたことを口コミや報道で広められると、自然に行きたいという気持ちに繋がる。楽しいと思えるような体験メニューを用意するといい。

・社会科教員対象の研修を開催するなど、学校と連携して学校を介して博物館でできることを周知するといいのでは。以前に博物館で行った甲冑試着体験は具体物に触れられるいい経験だった。

② 観覧料の見直しについて(意見聴取)

（非公開）

―閉会後― 特別展「岩波其残」展示観覧